(参え	0名称		もりおか															平成28年7月29日
計画の	D期間 D目標	Ŭ			平成26年	三度 (54	年間)			交付対象		盛岡市						
I 歩い 中心市 Ⅱ 公共	て楽しむ 街地にお 交通軸の	ける回遊 充実・弱	鈋	クセス性				日転車が安心して性 o公共交通への転担			きる賑わい	のある空間を創り	出する。					
・中心市	の成果目 街地を快 街地への	適に移動		感じる人用車の利	 の割合を 用割合を	と現状から と約4%削	か4%増 削減させる	増加させる。 う。										
定量	:的指標の	定義及び	算定式										定量的 当初現況値	指標の現況 中間目		目標値 最終目標値	_	備考
													(H22当初)	中间日 (H245		(H26末)		
1	① 中心市街地において歩行者, 自転車利用者の意識を調査する (アンケート調査)												46. 7%	49.0	0%	51.0%	もりおか 目標値(交通戦略における H30)を基に設定
2	② 事業所従業者への実態調査を実施し推計値を求める(アンケート調査又は全国PT調査への追加調査)													37.0	0%	35. 0%		
3																		
			^	⇒ 1	4 900	百万円		4 909天下田		人 五子田		or포로메	拉里 /尼准車	で光典のまげ			上段:計	画 下段:実施
<u> </u>	と 体事業費	· ·	合 (A+E		4, 288		A	4,203百万円 3,972百万円	В	0百万円 0百万円	С	85百万円 79百万円	効果促進事業費の割合2.0%C/(A+B+C)2.0%					
○重公訂	価の実施	· 休事 1 年	* 佐 庄 田							248								
	の実施体		一种 一								事後評価	iの実施時期		平成284	年7月			
課内組	織にて事	後評価を	実施								公表の方	· 法	٦	トームペー	ジにて公	表		
1	対象事業	の准排出	- 沪															
交付対象	事業	:VE194	(1)1															
A 下水 番号							***** 夕		東紫山宏		中华中华和田(と			上段:計	1 100 10			
留り	事業 種別	種別	交付 対象	直接 間接	事業者	施設 種別	省略 工種		事業箇所		事業内容 (延長・面積等)		市町村名	事業実施期間H22H23H24			H26	全体事業費 備考
3-A-1	街路	一般	盛岡市	直接	_	S街路	改築	梨木町	上米内線	! (Ⅱ)		L=0.68km L=0.68km	一盛岡市					2, 247 2, 155
3-A-2	街路	一般	盛岡市	直接	_	S街路	改築	盛岡駅南力	大橋線(フ	大沢川原)		L=0.22km	- 盛岡市					908 794

	 																
A 下水	道		·												上段:計	画 下	段:実施
番号	番号 事業 地域 交付		交付	直接	事業者	施設	省略	要素となる事業名	事業内容	市町村名		事業実	そ施期間 ((年度)		全体事業費	備考
	種別	種別	対象	間接	尹未日	種別	工種	(事業箇所)	(延長・面積等)	川町竹石	H22	H23	H24	H25	H26	(百万円)	
3-A-1	3-A-1 街路 一般 盛岡市 直接 -		C45117 34.44		梨木町上米内線(Ⅱ)	現道拡幅 L=0.68km	- 盛岡市			—			2, 247				
3-A-1	街站	一九又	盛岡市	旦按	_	S街路	改築	宋本町上木内禄(II) 	現道拡幅 L=0.68km	一			—			2, 155	
2 4 9	3-A-2 街路	一般	盛岡市	直接	_	S街路	改築	盛岡駅南大橋線(大沢川原)	現道拡幅 L=0.22km	- 盛岡市		—	—			908	
3-A-2	担的	一月又	盆 1 1	旦1女		3141的	以架	盆间歇用入临脉 (人人)川凉/	現道拡幅 L=0.22km	盆间川		_				794	
3-A-3	3-A-3 街路	一般	盛岡市	直接		S街路	改築	南大通南大橋線(神子田Ⅰ)	現道拡幅 L=0.30km	- 盛岡市						113	
3-A-3	担的	一万又	盆凹川	旦1女		3141的	以架	用入週用入惝脉 (种于由 I)	現道拡幅 L=0.30km	一		1				88	
3-A-4	街路	一般	盛岡市	直接	_	S街路	改築	明治橋大沢川原線	現道拡幅 L=0.16km	成図本						908	
3-A-4	担的	一万又	益 阿 巾	旦1女		31416	以架	91日間入扒川尽脉	現道拡幅 L=0.16km					908			
2-1-5	施設整備	一般	盛岡市	直接	_	S街路	改築	自転車走行空間整備	L=2.4km	- 盛岡市				•		27	
5-A-5	旭政罡佣	一板	盆凹川	旦佞		3141的	以架	日料中足打至间盤個	L=576.8m	一				•		27	
															∆ ∌I.	4, 203	
															合計	3, 972	

B 関連	関連社会資本整備事業																
番号	事業	地域	交付	直接	事業者	施設	省略	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費	備考
田 7	種別	種別	対象	間接	子	種別	工種	女がこなるず木石	(延長・面積等)	1141.1.1.1.1	H22	H23	H24	H25	H26	(百万円)	
													<u></u> 合計				
番号																備考	
留り	一个可以	- 天肥りる) (_ 4	、り捌付く	34603013	<											加与
C 効果	促進事業	Š													上段:計	画 下	_{役:実施}
	事業	地域	交付	直接		施設	省略		-t- 204 -tt-	-temes to te		事業実	<u></u>	全体事業費	備考		
番号	種別	種別	対象	間接	事業者	種別	工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	H22	H23	H24	年度) H25 ┃	H26	(百万円)	DII 3
3-C-1	計画・調査	一般	盛岡市	直接	_		計画調査	新駅整備関連交通広場等計画調査	新駅・交通広場関連の調査設計	成岡本						8	
3-0-1	計画・調査	一月又	盆岡川	旦1女			可四侧鱼	利趴金佣务座父旭広场寺計画调生	新駅・交通広場関連の調査設計	益岡川						8	
3-C-6	社会実験	一般	盛岡市	直接	_		社会実験	バス運行社会実験(松園支線バス)	ゾーンバスの改良	盛岡市						10	
3 (0	任云天峽	刈又	盆岡川	旦7女			江云天峽	八八座行任云天阙(位图文脉八八)	ゾーンバスの改良	盆岡川						9	
3-C-8	施設整備	一般	盛岡市	直接	_		公共交通(バス)	バス停整備(ハイグレード)	バス停の整備6箇所	- 盛岡市						9	
3 0 0	旭队歪佣	川又	金属山口	巨安			27.22 (77)	ハス停車浦 (ハイフレード)	バス停の整備4箇所	無同口						7	
3-C-11	社会宝驗	一般	盛岡市	直接	_		社会実験	交差点改善社会実験(JR盛岡駅前)	交通円滑化の実験	盛岡市						4	
5 0 11	L. A. 大阪	川又	無岡巾	匹皮			L. 乙 大 顺	文是小以音压云关款 (JR盖画歌刊)	交通円滑化の実験							3	
3-C-13	施設整備	一般	盛岡市	直接	_		都市交通	自転車駐車場の整備	5 箇所	- 盛岡市						41	
0 0 10	//EIXTE/m	/4.X	亚洲山	巨区			品がい人心	口书子如子为	3 箇所							41	
3-C-14	社会実験	一般	盛岡市	直接	_		MM	モビリティ・マネジメント	公共交通軸沿線の市民対象	- 盛岡市						8	
0 0 14	L. A. 人 W.	/4.X	亚洲山	巨区			141141		公共交通軸沿線の市民対象							8	
3-C-15	計画・調査	一般	盛岡市	直接	_		計画調査	交通戦略の効果の検証	アンケート調査, PT調査	- 盛岡市				-		2	
0 0 10	FIE WAL	/42	TITT IN THE	直接			DI EN MALES	人是我們 ** / /// / / / / / / / / / / / / / / /	アンケート調査	TITE 14.1.1						1	
3-C-16	社会宝驗	一般	盛岡市	直接	_		社会実験	JR山田線利用促進社会実験	駅利用環境整備	盛岡市				-		3	
0 0 10		/42	THE 1-2 114	匹沃				THE ENRICH EAST OF	駅利用環境整備	III. -3 1 4						2	
															合計	85	
																79	
番号	一体的に	実施する	らことによ	り期待る	される効果	른											備考
3-C-1	各地域と	中心市街	5地を結ぶ	ぶ公共交通	通軸を充乳	ミ・強化	し,自家月	月車から公共交通への転換を促進する。									
3-C-6	街路事業	€ (3-A-1))と一体	的に,効	率的,劾	果的なバ	ス運行に	関する社会実験を実施し、自家用車から公割	共交通への転換を検証する。								
						-		₹通への転換を促進する。									
								する盛岡駅前の交通処理を検証するため,原		査及び改善計画の	策定を行い	ハ,その	効果を検証	Eする。			
							一体的に		回遊性の向上を図る。								
		€ (3-A-1	, –		_ + / 11 / 2			·	の変容を促す啓発活動を実								
								を図るため,中間時及び目標時における評		する。							
3-C-16	街路事業	€(3-A-1)	と一体的に	こ, 効率的	的, 効果的	な鉄道運	行に関する	る社会実験を実施し,自家用車から公共交通への	の転換を検証する。								
その他関	油土ッ古	- 11 .															1
その他関			○市にお	ける循環	のみちの	宇钼									上段:計	一面 下	翌:実施
			交付	リる旧然	V / 0 / 4 / V /	ベグ		要素となる事業名		+:					上 4 入 , 卩	全体事業費	備考
事業	俚別 ————		対象					(事業箇所)		市町村名						(百万円)	VII4 9
A' -1-1			00市							〇〇市							
		ļ							4	3 3 .,,	1						

A'-1-2			〇〇市								00市			
C' -1-1			〇〇市								〇〇市			
全体事業費		合計 (A'+B'+C')	0百万円 0百万円	Α'	0百万円 0百万円	В'	0百万円 0百万円	С,	0百万円 0百万円	(C+C')/((A+A')+	(B+B')+(C+C'))			

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況

- ・中心市街地の自転車走行空間の一部が整備されたことにより、歩行者と自転車の通行空間の分離が図られ、移動の快適性が向上した。
- ・バス停整備、鉄道駅利用環境整備、自転車駐輪場整備などにより公共交通利用環境の向上が図られ、また、公共交通利用促進に係る啓蒙活動により、公共交通利用 への意識の転換を図り、自家用車から別の交通手段への転換が図られた。

Ⅱ定量的指標の達成状況

指標①(中心市街 最終目標値 指標(U)(甲心市街 地を快適に移動で きると感じる人の 割合を現状から約 4%増加させる) 最終実績値

る自家用車の利用

させる)

指標②(中心市街 地への通勤におけ

最終目標値

最終実績値

51% アンケート調査 56% アンケート調査

に差が出た要因

目標値と実績値 に差が出た要因

目標値と実績値 自転車走行空間の整備を行ったことにより、歩行者と自転車の通行空間の分離が図られたことで目標値を 上回った。

35% 最終目標値 アンケート調査 8日本/17年2 割合を約4%削減 最終実績値 に差が出た要因 回った。 34%

アンケート調査

目標値と実績値 公共交通利用環境が向上したことにより、自家用車から公共交通への転換が図られたことで目標値を上

Ⅲ定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)

3. 特記事項(今後の方針等)

・引続き各事業を進めることにより、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。

(参考様式3) (参考図面)活力創出基盤整備

